

厚木海軍飛行場

所在地

大和市上草柳、下草柳、福田、本蓼川
綾瀬市深谷、蓼川、本蓼川
海老名市東柏ヶ谷

接收年月日

昭和20(1945)年9月2日

従業員数

1,083人

現況

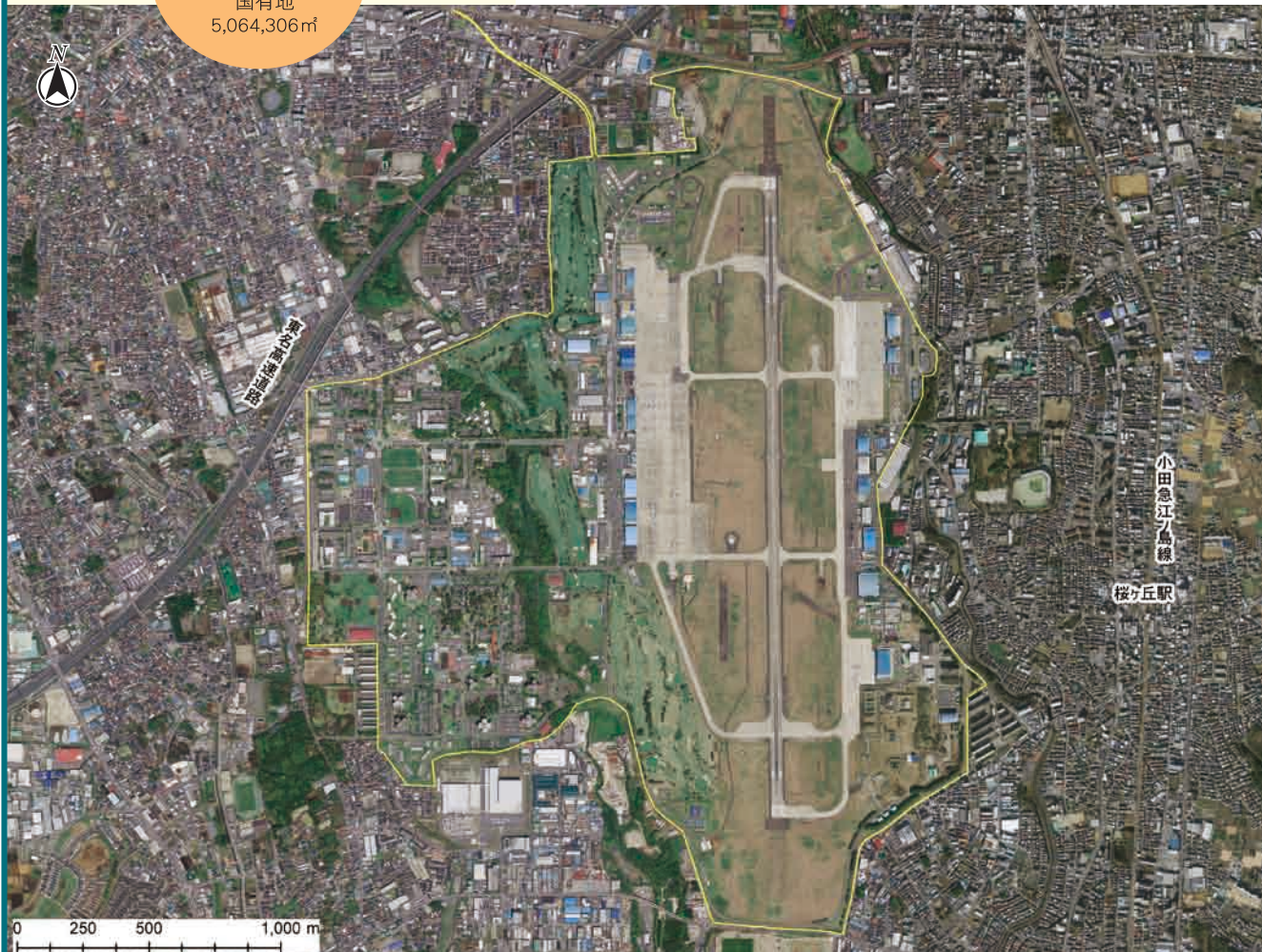
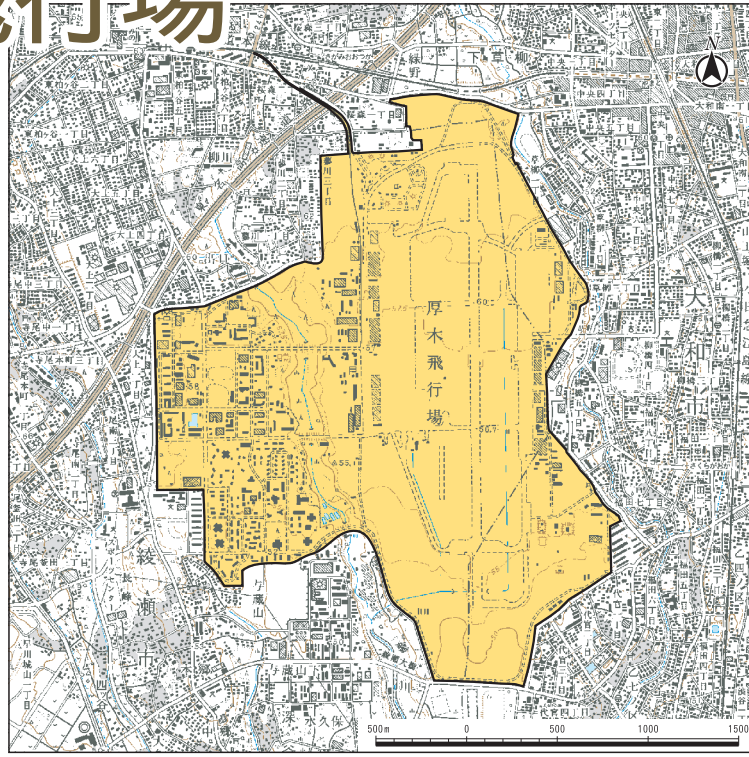
旧日本海軍の航空基地を米軍が接收した。
在日米海軍厚木航空施設司令部をはじめ、前方艦隊航空司令部、第5空母航空団のほか、第51対潜ヘリコプター飛行中隊及び米陸軍第78航空大隊分遣隊等が駐留し、米海軍航空部隊航空機の整備、補給、支援業務を行っている。延長約2,400メートル×幅約45メートルの滑走路があり、海上自衛隊との共同使用区域となっている。
平成18年5月の在日米軍再編の最終報告において、平成26年までに空母艦載機59機の岩国飛行場への移駐等が合意された。

土地

5,068,806㎡
(綾瀬市 約3,947千㎡、大和市 約1,121千㎡、海老名市 約1千㎡)

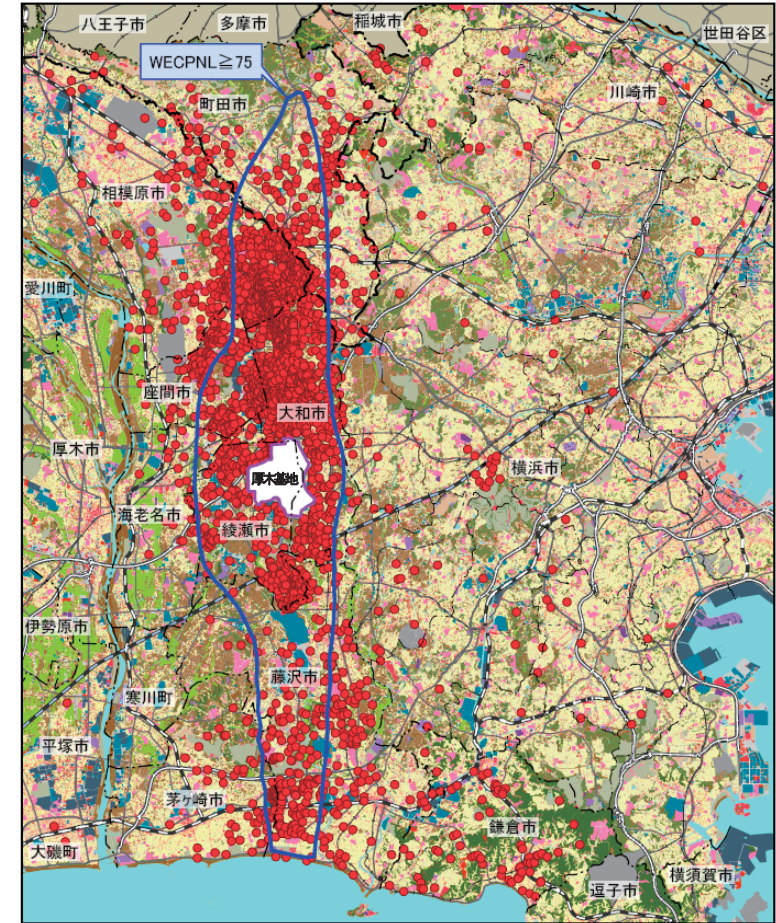
市有地 20㎡ / 民有地 4,480㎡

国有地 5,064,306㎡



厚木基地周辺の騒音苦情の発生地点

- 平成21年度に空母が入港していた11ヶ月間に、県及び厚木基地周辺12市に寄せられた苦情3,649件の内、住所(町名まで)が判明した苦情3,031件について、その発生場所を示した。(地図上の赤丸1つは、町名まで判明した苦情1件を表す。)
- 青い線は、国が平成15、16年度に実施した騒音調査に基づくWECPNL75のコンターライン。

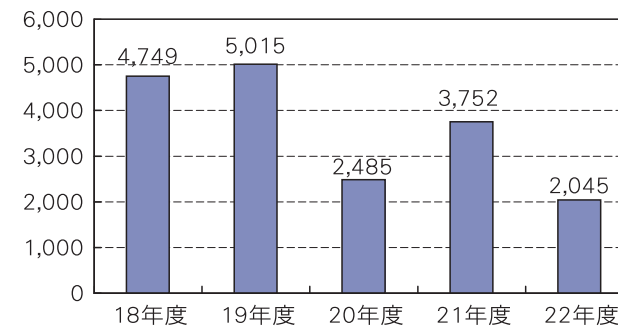


・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分1地勢図を複製したものである(承認番号 平20関復、第162号)
・「平成12年度神奈川県都市計画基礎調査」及び「平成14年度東京都土地利用現況」を用いて作成

苦情(町名まで判明したもの)が発生した地域の総人口 約236万人 (平成21年10月1日現在)

平成22年11月16日厚木基地騒音対策協議会要請書より

年度別苦情件数の推移



※県及び周辺12市が受け付けた苦情件数
※平成22年度の件数は、平成23年2月末現在